

取組	評価指標内容	アンケート			数値目標	今後の方策・手立て	分析結果	自己評価	委員評価			
		項目	7月	12月								
3 体力を高め、 健康的な生活 のために	①早寝・早起き・朝ご飯を推進し、特に朝ご飯摂取100%をめざします。	私は、毎日欠かさず、朝ごはんを食べている。	3.4 83%	3.4 87%	肯定的意見が100% 平均 3.4 85%	○保健だより等による啓発活動を継続するとともに学級懇談や学校保健委員会などの各種研修会を実施する。 ○生徒会の保健体育委員会活動での取組。 ○小学校と連携しての啓発活動の実施。	目標を若干下回った。 100%を目標としているので、肯定的意見85%では目標達成とはならない。 昨年度からの向上が見受けられないので、今後は、家庭に対して、より具体的な指導をする必要がある。	2 4 4 2	2 2 2 2			
	学校関係者評価委員コメント											
	<ul style="list-style-type: none"> 学校だけでの啓発活動では限界があると思う。保護者の理解と協力が何より不可欠ではないでしょうか。 各家庭の協力がないと100%は難しいと思う。幼保時代から取り組んで欲しい。 家庭への啓発の仕方を工夫しないと来年も同じ結果になりますね。 食事の大切さがわかれば、もう少し上になると思う。 家庭のことまで難しいと思うが、保護者への指導を続けてください。 食べていない生徒が決まっているのであれば、個別の指導が必要ではないでしょうか。 保護者の協力が必要不可欠であり、啓発活動の継続が必要と思う。 											
	②保護者の理解を得ながら、登校時のイチキロウォークを推進します。	私は、イチキロウォークを守っている。	3.3 85%	3.4 89%		○生徒会による全校生徒への呼びかけやP T A生活指導部と連携して、現在のあいさつ運動や見守り活動を継続する。	目標を十分に達成した。 昨年度と同様の肯定的意見あった。 今後も生徒会やP T A生活指導部と連携しながら更に推進していきたい。					
	学校関係者評価委員コメント											
	<ul style="list-style-type: none"> 保護者も十分理解していると思います。今後もよろしくお願い致します。 持続して欲しい。 目標は十分達成していると思う。 全員が守るように頑張って欲しい。 生徒と保護者が決まりを守っていることから、結果が出ており評価できます。 											
	③避難訓練等を通して自分の身は自分で守るという意識を高めます。	避難訓練を経験することで、自分の身は自分で守るという気持ちを持った。	3.1 86%	3.2 86%		○避難訓練の実施と内容の充実。 ○常時指導において自分の身は自分で守るという気持ちの醸成。	目標を若干下回った。 100%を目標としているので、目標達成とはならないが、熊本において地震が発生したこともあり、昨年度を5%上回った。 2学期には、初めて図上訓練を実施し、考えて行動することの大切さを再認識させた。消防署との連携もしっかりと行っている。					
	学校関係者評価委員コメント											
	<ul style="list-style-type: none"> 授業や訓練で危機管理意識を一層高めていただきたいと思います。 知識として理解していても、行動が伴わない意味がないと思うので、訓練を繰り返す必要があると思う。 残り14%の生徒の意見がどのようなものか知りたいですね。 各自の防災意識を高める必要があると思う。 「自分の身は自分で守る」という気持ちをもてない人がいるのが? 災害はいつ起こるか予想できません。日ごろから意識を高めておくことと定期的な訓練が必要と思います。 声かけ事案やネットトラブル等から自分の身を守ることや相談できる環境の整備も危機管理として必要ではないかと思う。 											